

令和4年度

【事業者向け】放課後等デイサービス自己評価表

回答者9名

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	職員の配置数は適切であるか	9			* 配置基準は満たしているが、直接的な支援量が多い利用者や業務過多で、慢性的な人員不足だと感じる。 * 利用者数や介護量に応じてシフトを調整している。
	2	事業所の設備等について、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	9			* 廊下・浴室・トイレ等利用者の生活空間の要となる場所に手すりが設置しており、活用されている。
業務改善	3	業務改善のための目標設定や振り返りに、広く職員が参画しているか	9			* 職種にかかわらず全職員参加の会議や勉強会を毎月実施し、職員間で情報共有している。 * APDCサイクルを心掛けているが、職員間での共通認識の徹底が課題となっている。 * 必要に応じて随時話し合いの場を設け、振り返りを行っている。
	4	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	9			* 開催予定の研修内容を事業所内に提示している。 * 事業所内勉強会を開催し、課題を決めて皆で取り組んでいる。 * 研修の機会はあるが、現場へフィードバックされていないと感じることがある。
適切な支援の提供	5	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで、放課後等デイサービス計画書を作成しているか	9			* 児童発達支援管理責任者を中心に、利用者や家族から聞き取りを行い、必要な援助を職員間で共有している。 * 行動観察を記録し、支援計画を作成している。
	6	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	9			* 始業前にその日の利用者状況を把握し、ケース記録で支援内容を確認している。終業前に翌日のシミュレーションを行うこともある。
	7	定期的に、職員間で打ち合わせを行い、行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	9			* その都度行う事もあれば、会議や勉強会での検討会でやることもある。ケース記録や会議記録に残し、共有されている。 * 共有した事を次のステップアップや改善に繋げる為の実践力が課題。
	8	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	9			* 行動観察などの気付きをケース記録に記載する事を強く意識している。 * 共有した事を次のステップアップや改善に繋げる為の実践力が課題。
	9	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	9			* 不十分などところもあるが、APDCサイクルの実践に取り組んでいる。 * 概ね6か月に1度、支援計画の見直しを行っている。
関係機関や保護者との連携	10	障害者相談支援事業所のサービス担当者会議に、その子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	9			* 児童発達支援管理責任者・管理者が出席している。
	11	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	9			* 保護者からの連絡が主だが、必要な際は学校とメールや電話で情報を共有している。 * 支援に関しては、相談支援専門員を介して共通認識を持てるようにしている。
	12	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医と連絡体制を整えているか	8	1		* 現在対象児はいないが、主治医の判断・指示の下、医療行為を行うことや連絡体制は整備されている。基本的には、保護者や相談支援事業所を通して情報を共有している。
	13	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	9			* 現在対象児はいないが、必要な時は情報共有を図る。過去には、都度の電話連絡やケア会議等で必要な事を共有していた。

裏に続きがあります

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
	14	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	9			* 依頼があれば移行会議等に参加している。 * 要望があれば必要な書類を作成し提供している。
	15	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		2	7	* 感染防止の為自粛しているが、交流の場を持ちたいと常に検討している。 * 放課後の療育の実施時間が限られており、直接的な交流は難しい。 * 交流の機会はあると思うので、実践に繋げていきたい。
	16	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	9			* 連携ノートの活用や送迎の際に様子を伝えている。 * 適宜面談を行い、課題の把握や共通理解のための取り組みをしているが、十分ではないと感じる。
保護者への説明責任など	17	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8	1		* 契約時に説明を行っている。問い合わせにも柔軟に対応している。 * 支援内容については、面談時や送迎時に説明している。
	18	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	9			* 相談があれば受けている。適切な助言を行う為に相談支援事業所や他事業所と内容を共有し支援する場合もある。 * 面談の機会は設けているが、核心に迫っていないケースもある。
	19	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9			* 苦情があった場合は、苦情受付担当者・解決責任者に繋ぎ、迅速対応の為に体制は整備されている。 * 検討会にて内容は周知徹底され、適切な対応と再発防止に努めている。
	20	個人情報に十分注意しているか	9			* 勉強会や会議でも話し合い、意識を高めている。
	21	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	9			* 利用者や保護者に合わせ伝達方法を工夫している。
	22	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	5	1	* 定期的に広報を発行し活動の様子を地域住民に発信している。 * 過去には地域住民も参加できる家族交流会を開催していたが、コロナ禍の為開催できていない。地域の中の事業所として、可能な形で開催したい。 * 事業所で飼っているヤギを誰でも見られるよう、小屋を解放している。
非常時	23	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	9			* 定期的に火災や自然災害等を想定しての訓練やマニュアルの見直しを行っている。
	24	食物アレルギーのある子どもについて、適切に対応がされているか	9			* アセスメント時に確認し食事チェック表にて周知徹底している。
	25	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	9			* 事案が発生した場合、報告書に記載し全職員で内容を共有している。 * ミーティング等で事案を話し合い、検証している。

以上です。ご協力ありがとうございました。

※ 現在、利用者はいません。評価結果は「放課後等デイサービス」のものです。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	職員の配置数は適切であるか	9			* 配置基準は満たしているが、直接的な支援量が多い利用者や業務過多で、慢性的な人員不足だと感じる。 * 利用者数や介護量に応じてシフトを調整している。
	2	事業所の設備等について、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	9			* 廊下・浴室・トイレ等利用者の生活空間の要となる場所に手すりが設置しており、活用されている。
業務改善	3	業務改善のための目標設定や振り返りに、広く職員が参画しているか	9			* 職種にかかわらず全職員参加の会議や勉強会を毎月実施し、職員間で情報共有している。 * APDCサイクルを心掛けているが、職員間での共通認識の徹底が課題となっている。 * 必要に応じて随時話し合いの場を設け、振り返りを行っている。
	4	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	9			* 開催予定の研修内容を事業所内に提示している。 * 事業所内勉強会を開催し、課題を決めて皆で取り組んでいる。 * 研修の機会はあるが、現場ヘフィードバックされていないと感じることがある。
適切な支援の提供	5	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで、放課後等デイサービス計画書を作成しているか	9			* 児童発達支援管理責任者を中心に、利用者や家族から聞き取りを行い、必要な援助を職員間で共有している。 * 行動観察を記録し、支援計画を作成している。
	6	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	9			* 始業前にその日の利用者状況を把握し、ケース記録で支援内容を確認している。終業前に翌日のシミュレーションを行うこともある。
	7	定期的に、職員間で打ち合わせを行い、行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	9			* その都度行う事もあれば、会議や勉強会での検討会で行うこともある。ケース記録や会議記録に残し、共有されている。 * 共有した事を次のステップアップや改善に繋げる為の実践力が課題。
	8	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	9			* 行動観察などの気付きをケース記録に記載する事を強く意識している。 * 共有した事を次のステップアップや改善に繋げる為の実践力が課題。
	9	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	9			* 不十分などところもあるが、APDCサイクルの実践に取り組んでいる。 * 概ね6か月に1度、支援計画の見直しを行っている。
関係機関や保護者との連携	10	障害者相談支援事業所のサービス担当者会議に、その子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	9			* 児童発達支援管理責任者・管理者が出席している。
	11	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	9			* 保護者からの連絡が主だが、必要な際は学校とメールや電話で情報を共有している。 * 支援に関しては、相談支援専門員を介して共通認識を持てるようにしている。
	12	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医と連絡体制を整えているか	8	1		* 現在対象児はいないが、主治医の判断・指示の下、医療行為を行うことや連絡体制は整備されている。基本的には、保護者や相談支援事業所を通して情報を共有している。
	13	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	9			* 現在対象児はいないが、必要な時は情報共有を図る。過去には、都度の電話連絡やケア会議等で必要な事を共有していた。

裏に続きがあります

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
	14	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	9			* 依頼があれば移行会議等に参加している。 * 要望があれば必要な書類を作成し提供している。
	15	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		2	7	* 感染防止の為に自粛しているが、交流の場を持ちたいと常に検討している。 * 放課後の療育の実施時間が限られており、直接的な交流は難しい。 * 交流の機会はあると思うので、実践に繋がっていきたい。
	16	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	9			* 連携ノートの活用や送迎の際に様子を伝えている。 * 適宜面談を行い、課題の把握や共通理解のための取り組みをしているが、十分ではないと感じる。
保護者への説明責任など	17	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8	1		* 契約時に説明を行っている。問い合わせにも柔軟に対応している。 * 支援内容については、面談時や送迎時に説明している。
	18	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	9			* 相談があれば受けている。適切な助言を行う為に相談支援事業所や他事業所と内容を共有し支援する場合もある。 * 面談の機会は設けているが、核心に迫っていないケースもある。
	19	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9			* 苦情があった場合は、苦情受付担当者・解決責任者に繋ぎ、迅速対応の為に体制は整備されている。 * 検討会にて内容は周知徹底され、適切な対応と再発防止に努めている。
	20	個人情報に十分注意しているか	9			* 勉強会や会議でも話し合い、意識を高めている。
	21	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	9			* 利用者や保護者に合わせ伝達方法を工夫している。
	22	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	5	1	* 定期的に広報を発行し活動の様子を地域住民に発信している。 * 過去には地域住民も参加できる家族交流会を開催していたが、コロナ禍の為開催できていない。地域の中の事業所として、可能な形で開催したい。 * 事業所で飼っているヤギを誰でも見られるよう、小屋を解放している。
非常時	23	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	9			* 定期的に火災や自然災害等を想定しての訓練やマニュアルの見直しを行っている。
	24	食物アレルギーのある子どもについて、適切に対応がされているか	9			* アセスメント時に確認し食事チェック表にて周知徹底している。
	25	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	9			* 事案が発生した場合、報告書に記載し全職員で内容を共有している。 * ミーティング等で事案を話し合い、検証している。

以上です。ご協力ありがとうございました。